

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[1] 事業所に対する働き方の見直しの意識啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●	
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課 [総務]							
事業の概要								
男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報紙により周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成20年度からは、市及び教育委員会主催、PTA連合会・女性団体連絡協議会等団体との共催により、国の男女共同参画推進本部が実施する「男女共同参画週間」に合わせて、「男女共同参画推進大会」を開催している。								
平成20年度実績								
【男女共同参画推進大会】 日時：平成20年7月6日(日) 10:00～15:00 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「幸せのレシピ」)、基調講演(講師:フジテレビアナウンサー 笠井信輔氏、演題:「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、各種相談(育児・高齢者・健康相談)、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ) 来場者：約600人 【男女共同参画講演会】 ※職員研修を兼ねる 日時：平成21年3月13日(金) 14:30～16:30 会場：宇和島市総合福祉センター 講師：橋木 俊詔 氏 (同志社大学経済学部教授・元日本経済学会会長) 演題：これからの労働・結婚・子育て ～経済学から解く男女共同参画社会～ 来場者：約100人							決算額	
							1,063千円	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
○「男女共同参画推進大会」においては、身近なテーマに視点を置いた講演や映画上映などを行うことにより、実生活と男女共同参画との関わりについて意識が深められたと思われる。また、家族や地域の人たち に対する感謝の気持ちを込めた手紙等の作品コンクールを大会に先立って実施し、当日優秀作について表彰・紹介を行った。後日広報にも掲載し、男女が協力して家庭や地域と関わることの大切さを、多くの人が再認識できたのではないかと考える。 ○「男女共同参画」について更に広く、深く理解を得られるよう、実生活に根差した様々なテーマを取り上げ、講演会等を実施するほか啓発を図っていきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
平成21年度予定								
前年度同様、男女共同参画週間の期間中に大規模な大会「男女共同参画フェスティバル」を実施するほか、12月以降に講演会を数回開催する予定としている。 【男女共同参画フェスティバル】 日時：平成21年6月28日(日) 9:00～16:30 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「Mayuーココロの星ー」)、トークショー(アニマル浜口氏、らくさぶろう氏)、トーク&コンサート(う〜み氏)、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、マンモグラフィー検診、各種相談、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ)							予算額	
							2,275千円	
							目標値	
							—	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[1] 事業所に対する働き方の見直しの意識啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続		③新規	●
商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発	商工観光課								
事業の概要									
会議所、商工会等を通じて、事業所等への啓発を行う。									
平成20年度実績									
会議所・商工会会員を中心に啓発（総会等）。								決算額	
								0千円	
								実績値	
								2回	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
現在の中小企業を取り巻く状況は、非常に厳しく推進は難しい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成21年度予定									
会議所・商工会会員を中心に啓発（総会等）の継続。								予算額	
								0千円	
								目標値	
								2回	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[2] 農林水産業従事者に対する働き方の見直しの意識啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
担い手アクションサポート事業(家族経営協定締結支援)	農林課							
事業の概要								
農家の家族関係を近代化し、農業後継者の確保や女性の地位向上を目指す。								
平成20年度実績								
平成20年度家族経営協定締結数 39家族 合計72家族								決算額
								0千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
経営面や生活面でのルールを文書化することで、新しい経営に参加しようとする人が経営参画しやすくなった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成21年度予定								
農業関係の事業について、認定農業者でなくては事業参加者になれないので、今後も家族経営協定締結を推進する。								予算額
								0千円
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[3] 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続		③新規	●
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課 [総務]			①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報紙により周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成20年度からは、市及び教育委員会主催、PTA連合会・女性団体連絡協議会等団体との共催により、国の男女共同参画推進本部が実施する「男女共同参画週間」に合わせて、「男女共同参画推進大会」を開催している。									
平成20年度実績									
【男女共同参画推進大会】 日時：平成20年7月6日(日) 10:00～15:00 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「幸せのレシピ」)、基調講演(講師:フジテレビアナウンサー 笠井信輔氏、演題:「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、各種相談(育児・高齢者・健康相談)、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ) 来場者：約600人 【男女共同参画講演会】 ※職員研修を兼ねる 日時：平成21年3月13日(金) 14:30～16:30 会場：宇和島市総合福祉センター 講師：橘木 俊昭 氏 (同志社大学経済学部教授・元日本経済学会会長) 演題：これからの労働・結婚・子育て ～経済学から解く男女共同参画社会～ 来場者：約100人								決算額	
								1,063千円	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
○「男女共同参画推進大会」においては、身近なテーマに視点を置いた講演や映画上映などを行うことにより、実生活と男女共同参画との関わりについて意識が深められたと思われる。また、家族や地域の人たち に対する感謝の気持ちを込めた手紙等の作品コンクールを大会に先立って実施し、当日優秀作について表彰・紹介を行った。後日広報にも掲載し、男女が協力して家庭や地域と関わることの大切さを、多くの人が再認識できたのではないかと考える。									
○「男女共同参画」について更に広く、深く理解を得られるよう、実生活に根差した様々なテーマを取り上げ、講演会等を実施するほか啓発を図っていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成21年度予定									
前年度同様、男女共同参画週間の期間中に大規模な大会「男女共同参画フェスティバル」を実施するほか、12月以降に講演会を数回開催する予定としている。 【男女共同参画フェスティバル】 日時：平成21年6月28日(日) 9:00～16:30 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「Mayuーココロの星ー」)、トークショー(アニマル浜口氏、らくさぶろう氏)、トーク&コンサート(う〜み氏)、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、マンモグラフィー検診、各種相談、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ)								予算額	
								2,275千円	
								目標値	
								—	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[3] 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
市職員の年次有給休暇の取得促進	総務課 [人事]	8.5日 (H18)	職員1人平均 年10日以上					
事業の概要								
市職員の年次有給休暇の取得を促進し、職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた、健康的な生活を支援する。								
平成20年度実績								
平成20年1月から12月までの年次有給休暇平均取得日数 7.8日 (病院局3.9日 水道局12.3日 その他10.8日)								決算額
								—
								実績値
								7.8日
								進捗状況
								78.0%
事業に対する評価・課題等								
病院局以外は目標の10日を超えているが、病院局は3.9日と非常に少ない。宇和島病院改築の影響もあると思われるが、医療現場の厳しい労働環境を反映している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
平均10日以上取得できるよう取得を推進する。								予算額
								—
								目標値
								10日

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[3] 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課 [人事]							
事業の概要								
休業・休暇制度について国に準じて制度を整備するとともに、制度の周知を行う。								
平成20年度実績								
○ 平成20年4月より育児のための短時間勤務制度を創設 小学校就学始期に達するまでの子を養育する正職員を対象に、週20～25時間の勤務形態を創設した。 ○ 平成21年1月より嘱託職員、臨時職員の休暇制度を充実させた。 証人・参考人・裁判員として裁判所への出頭(必要な期間・有給) 災害等の際の復旧作業・出勤困難な場合、危険の回避(必要な期間・有給) 忌引き休暇(正職員に準じた期間・有給) <嘱託職員のみ> 産前・産後休暇の創設(無給)、結婚休暇の創設(5日・有給) 1年目の職員の年次有給休暇10日→11日、2年目の職員の有給休暇11日→12日								決算額
								—
								実績値
								—
								進捗状況
								2
事業に対する評価・課題等								
○平成20年度における短時間勤務制度を取得した職員は1名であるが、制度が浸透すれば取得者も増加するものと思われる。 ○非正規職員の勤務条件改善を行ったが、今後も財政状況等を考慮しながら改善に努めたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
○正職員に対し、裁判員制度に伴う休暇(有給)を創設した。国に準拠して制度の改廃を行いたい。								予算額
								—
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[3] 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続		③新規	●
商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発	商工観光課								
事業の概要									
会議所、商工会等を通じて、事業所等への啓発を行う。									
平成20年度実績									
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)								決算額	
								0千円	
								実績値	
								2回	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
現在の中小企業を取り巻く状況は、非常に厳しく推進は難しい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成21年度予定									
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)の継続。								予算額	
								0千円	
								目標値	
								2	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[4] 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
地域情報化推進事業(高速インターネットの普及促進)	企画情報課 [総務]	88%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
宇和島市では、高速なインターネット環境が利用できない地域が広く残されており、これらの地域では、採算性の問題により民間の通信事業者による整備は困難となっている。それらの地域について、総務省の「次世代ブロードバンド戦略2010」及び「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(IT基本法)」に基づき、高度情報通信ネットワーク環境を整備するものである。 また、2011年7月の地上デジタル放送への完全移行に伴うテレビの難視聴対策としてケーブルテレビを整備するものである。								
平成20年度実績								
【入札・契約】 設計施工監理業務委託 ￥65,940,000- 伝送路幹線工事 ￥743,400,000- センター設備工事 ￥185,850,000- 伝送路引込工事(9工区) ￥481,690,650- ケーブルテレビ・光インターネット 対象世帯 約15,420世帯 加入申込数約6,500件 加入率42.15% ReachDSL+インターネット 対象世帯 約400世帯 加入申込数約50件 加入率12.5% 無線インターネット 対象世帯 19世帯 加入申込数3件 加入率15.78%							決算額	
							左記参照	
							実績値	
							88%	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成21年度予定								
全エリア竣工予定							予算額	
							1,611,176千円	
							目標値	
							100%	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[4] 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●	
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課 [総務]							
事業の概要								
男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報紙により周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成20年度からは、市及び教育委員会主催、PTA連合会・女性団体連絡協議会等団体との共催により、国の男女共同参画推進本部が実施する「男女共同参画週間」に合わせて、「男女共同参画推進大会」を開催している。								
平成20年度実績								
【男女共同参画推進大会】 日時：平成20年7月6日(日) 10:00～15:00 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「幸せのレシピ」)、基調講演(講師:フジテレビアナウンサー 笠井信輔氏、演題:「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、各種相談(育児・高齢者・健康相談)、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ) 来場者：約600人 【男女共同参画講演会】 ※職員研修を兼ねる 日時：平成21年3月13日(金) 14:30～16:30 会場：宇和島市総合福祉センター 講師：橋木 俊昭 氏 (同志社大学経済学部教授・元日本経済学会会長) 演題：これからの労働・結婚・子育て ～経済学から解く男女共同参画社会～ 来場者：約100人						決算額		
						1,063千円		
						実績値		
						—		
						進捗状況		
						4		
事業に対する評価・課題等								
○「男女共同参画推進大会」においては、身近なテーマに視点を置いた講演や映画上映などを行うことにより、実生活と男女共同参画との関わりについて意識が深められたと思われる。また、家族や地域の人たち に対する感謝の気持ちを込めた手紙等の作品コンクールを大会に先立って実施し、当日優秀作について表彰・紹介を行った。後日広報にも掲載し、男女が協力して家庭や地域と関わることの大切さを、多くの人が再認識できたのではないかと考える。 ○「男女共同参画」について更に広く、深く理解を得られるよう、実生活に根差した様々なテーマを取り上げ、講演会等を実施するほか啓発を図っていきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5		
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5		
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4		
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4		
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5		
平成21年度予定								
前年度同様、男女共同参画週間の期間中に大規模な大会「男女共同参画フェスティバル」を実施するほか、12月以降に講演会を数回開催する予定としている。 【男女共同参画フェスティバル】 日時：平成21年6月28日(日) 9:00～16:30 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「Mayuーココロの星ー」)、トークショー(アニマル浜口氏、らくさぶろう氏)、トーク&コンサート(う〜み氏)、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、マンモグラフィー検診、各種相談、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ)						予算額		
						2,275千円		
						目標値		
						—		

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[4] 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●
勤務時間制度のあり方検討	総務課 [人事]						
事業の概要							
ワーク・ライフ・バランスを推進するための1つの策がテレワークであり、国では2010年までに2005年比でテレワーカー人口比率倍増を図り、就業人口に占める割合を2割にすることを目標としている。							
平成20年度実績							
実績なし。						決算額	
						—	
						実績値	
						—	
						進捗状況	
						1	
事業に対する評価・課題等							
平成19年度に試行した結果、いくつかの問題点も浮き彫りとなった。特に、庁外からテレワーク勤務者に問い合わせがあった場合の対応、テレワーク勤務者の勤務管理に問題あり。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						—	
平成21年度予定							
実施する予定はない。						予算額	
						—	
						目標値	
						—	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[4] 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●
短時間勤務制度の導入	総務課 [人事]						
事業の概要							
平成20年度より、職員の職業生活と家庭生活との両立を支援するため、職員が職務を完全に離れることなく育児を行うことができるよう、正職員に育児のための短時間勤務制度を導入した。 勤務形態：4時間/日×週5日(週20時間)、5時間/日×週5日(週25時間)、 8時間/日×週3日(週24時間)、8時間/日×週2日+4時間/日×週1日(週20時間)							
平成20年度実績							
○ 平成20年度実績 1人						決算額	
						—	
						実績値	
						1人	
						進捗状況	
						3	
事業に対する評価・課題等							
代替職員の確保及び仕事の引継ぎに課題がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						—	
平成21年度予定							
—						予算額	
						—	
						目標値	
						—	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[4] 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
市職員の時間外勤務時間の削減	総務課 [人事]	-	年間上限 360時間					
事業の概要								
ワーク・ライフ・バランスを推進するため、市職員の時間外勤務時間の削減を行う。								
平成20年度実績								
○161,916時間(病院129,319時間 水道5,523時間 その他27,074時間) 前年度比14,666時間減 ○年間360時間超過職員119人(病院108人 水道5人 その他6人)								決算額
								—
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
平成19年度実績は、176,582時間(病院140,735時間 水道5,143時間 その他30,704時間)で、20年度には総時間数で14,666時間8.3%減少している。 職員数が年々減少しており、今後は時間外勤務が増加するのではないかと懸念している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
5%程度減という数値目標を設定。								予算額
								—
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[4] 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続		③新規	●
商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発	商工観光課								
事業の概要									
会議所、商工会等を通じて、事業所等への啓発を行う。									
平成20年度実績									
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)								決算額	
								0千円	
								実績値	
								2回	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
現在の中小企業を取り巻く状況は、非常に厳しく推進は難しい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成21年度予定									
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)の継続。								予算額	
								0千円	
								目標値	
								2回	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[5] 子育てを促進する職場環境の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●		
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課 [総務]			①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報紙により周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成20年度からは、市及び教育委員会主催、PTA連合会・女性団体連絡協議会等団体との共催により、国の男女共同参画推進本部が実施する「男女共同参画週間」に合わせて、「男女共同参画推進大会」を開催している。									
平成20年度実績									
【男女共同参画推進大会】 日時：平成20年7月6日(日) 10:00～15:00 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「幸せのレシピ」)、基調講演(講師:フジテレビアナウンサー 笠井信輔氏、演題:「息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、各種相談(育児・高齢者・健康相談)、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ) 来場者：約600人 【男女共同参画講演会】 ※職員研修を兼ねる 日時：平成21年3月13日(金) 14:30～16:30 会場：宇和島市総合福祉センター 講師：橋木 俊詔 氏 (同志社大学経済学部教授・元日本経済学会会長) 演題：これからの労働・結婚・子育て ～経済学から解く男女共同参画社会～ 来場者：約100人								決算額	
								1,063千円	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
○「男女共同参画推進大会」においては、身近なテーマに視点を置いた講演や映画上映などを行うことにより、実生活と男女共同参画との関わりについて意識が深められたと思われる。また、家族や地域の人たち に対する感謝の気持ちを込めた手紙等の作品コンクールを大会に先立って実施し、当日優秀作について表彰・紹介を行った。後日広報にも掲載し、男女が協力して家庭や地域と関わることの大切さを、多くの人が再認識できたのではないかと考える。									
○「男女共同参画」について更に広く、深く理解を得られるよう、実生活に根差した様々なテーマを取り上げ、講演会等を実施するほか啓発を図っていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成21年度予定									
前年度同様、男女共同参画週間の期間中に大規模な大会「男女共同参画フェスティバル」を実施するほか、12月以降に講演会を数回開催する予定としている。 【男女共同参画フェスティバル】 日時：平成21年6月28日(日) 9:00～16:30 場所：南予文化会館 内容：映画(DVD)上映(タイトル:「Mayuーココロの星ー」)、トークショー(アニマル浜口氏、らくさぶろう氏)、トーク&コンサート(う〜み氏)、男女共同参画社会作品コンクール表彰式、マンモグラフィー検診、各種相談、加工品等即売会(生活研究協議会、企業組合あこやひめ)								予算額	
								2,275千円	
								目標値	
								—	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[5] 子育てを促進する職場環境の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
地域情報化推進事業(高速インターネットの普及促進)	企画情報課 [総務]	88%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
宇和島市では、高速なインターネット環境が利用できない地域が広く残されており、これらの地域では、採算性の問題により民間の通信事業者による整備は困難となっている。それらの地域について、総務省の「次世代ブロードバンド戦略2010」及び「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(IT基本法)」に基づき、高度情報通信ネットワーク環境を整備するものである。 また、2011年7月の地上デジタル放送への完全移行に伴うテレビの難視聴対策としてケーブルテレビを整備するものである。								
平成20年度実績								
【入札・契約】 設計施工監理業務委託 ￥65,940,000- 伝送路幹線工事 ￥743,400,000- センター設備工事 ￥185,850,000- 伝送路引込工事(9工区) ￥481,690,650- ケーブルテレビ・光インターネット 対象世帯 約15,420世帯 加入申込数約6,500件 加入率42.15% ReachDSL+インターネット 対象世帯 約400世帯 加入申込数約50件 加入率12.5% 無線インターネット 対象世帯 19世帯 加入申込数3件 加入率15.78%							決算額	
							1,476,881千円	
							実績値	
							88%	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成21年度予定								
全エリア竣工予定							予算額	
							1,611,176千円	
							目標値	
							100%	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[5] 子育てを促進する職場環境の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実		②継続		③新規	
商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発	商工観光課								
事業の概要									
会議所、商工会等を通じて、事業所等への啓発を行う。									
平成20年度実績									
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)								決算額	
								0千円	
								実績値	
								2回	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
現在の中小企業を取り巻く状況は、非常に厳しく推進は難しい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成21年度予定									
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)の継続。								予算額	
								0千円	
								目標値	
								2回	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[1] 家庭での男女共同参画に関する意識啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)					
啓発紙作成事業	生涯学習課	-	3,000枚	①充実		②継続		③新規 ●
事業の概要								
地域における各種事業について、性別にとらわれずだれでも気軽に参加でき、さまざまな計画等にも女性が主体的に関わることができるよう意識啓発を図る。								
平成20年度実績								
【啓発紙原案の協議】 他県、他市の啓発紙を参考に、原案の方針を協議。 1. 啓発キャッチフレーズを入れること。 2. 地区公民館ごとの地域性を活かした内容とすること。 3. 公民館ごとに各種学級講座、事業の紹介を組み込むこと。 4. 具体的な内容については、各地区公民館運営審議会に諮ること。								決算額
								0千円
								実績値
								—
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
原案の方針・方向性を決定した段階であり、今後は詳細な部分を各地区公民館と協議する予定。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
各地区公民館に方向性・方針を示し、具体的協議を行う。								予算額
								0千円
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
保育所・子育て支援センター事業	福祉課 [子育て支援]							
事業の概要								
平成20年度実績								
地域子育て支援拠点事業を5法人保育園で実施								決算額
								37,936千円
								実績値
								5箇所
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
1保育園において休日にも実施しており、父親の利用もある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成21年度予定								
前年と同様								予算額
								37,936千円
								目標値
								5箇所

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
幼稚園の情報機能の活用による意識の見直し	教育総務課	75%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
保育園・地域子育て支援センター・幼稚園・小学校などの情報提供機能を活用し、父親の子育て参加に対する意識啓発を促進する。								
平成20年度実績								
○家族参観日・祖父母参観日等を通して、幼稚園の取り組みや指導内容などの理解を図った。 ○参観日に父親による幼児への読み聞かせを行った。 ○園の行事などにも、父親参加の場を設けたり、園からの様々な文書などでも、子育ては両親でとの関心と責任をもってもらえるように啓発した。 ○PTAの研修会・講演会への参加や園行事への参加を行った。 ○父親中心の参観日を実施した。 ○家庭通信や保育参観などを通して、子育てに関心を示してもらった。								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○保護者との連携を十分にとり、保護者の幼児期の教育に関する理解の推進を図る。 ○家族参観日に、父親も積極的に参加した。 ○少しづつ参加者も増え、研修の場でもともに語り合う機会ができてきた。 ○研修会等への参加は仕事の都合などもあり、母親中心になってしまいがちである。参加しやすい設定を工夫する必要がある。 ○園内行事への父親参加が多く見られた。また、子どもの姿を見たり触れ合ったりできた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成21年度予定								
○父親参加の家族参観日を通して意識の啓発を行う。 ○各種研修会・行事のよびかけを行い、意識の啓発を図っていく。 ○父親中心の参観日を実施する。 ○親子遠足の実施。 ○家族参観の実施(食育について)。 ○夕涼み会の実施。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
おやじの会推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	9.1%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
○PTA活動に消極的な父親への学校教育活動への参加をHP・学校だより等で呼びかけ。 ○名称がないにしてもPTA活動を中心とした中で父親と子どもの触れ合いの機会を持てるようにしている。								
平成20年度実績								
○小学校50%、中学校15%。 ○ソフトボール大会・家族参観日への参加。 ○学校行事の中でも特に田植え・稲刈り等において父親の協力を求め一緒に活動することで触れ合いの機会を得た。 ○校内水泳大会・運動会・校内駅伝大会で父親を中心に保護者チームを結成。 ○学校の環境整備等労力奉仕の協力。								決算額
								—
								実績値
								45%
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
○「おやじの会」という会はないがPTA役員等も男性が多く役員会等の出席率もよい。 ○全体的に学校行事の参加は母親が多いため一層の参加促進を行う。 ○共に活動することで相互に理解が深まり話題の提供等役立っている。 ○保護者の過重負担になっていないかという懸念がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
○夜市の校外補導を実施し、父親への参加を促す。 ○環境整備等積極的参加を促す。 ○全教育活動をととして男女がお互いに助け合って生活する心情や態度を育てて行く。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[3] 男性の家事・育児等への参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
保育所事業(親子料理教室・育児教室)	福祉課 [子育て支援]							
事業の概要								
男性を対象とした料理教室、育児講座、介護講座などを開催し、男性の家事・育児等への参画を促進する。								
平成20年度実績								
実績なし								決算額
								0千円
								実績値
								—
								進捗状況
								1
事業に対する評価・課題等								
特になし								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成21年度予定								
特になし								予算額
								0千円
								目標値
								—

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[3] 男性の家事・育児等への参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規																												
両親学級(主に日曜日に本庁・三間支所で実施)	保険健康課																																			
事業の概要																																				
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とするものである。																																				
平成20年度実績																																				
【パパママスクール】 対象：宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 場所・回数：宇和島保健センター(年3回コース) 三間保健福祉センター(年2回コース) 津島保健センター(年2回コース)(今年度で終了) 内容：自己紹介、妊娠中と産後のからだの変化・家族計画の講話、お父さんの妊婦体験、赤ちゃんのお風呂の入れ方実習(沐浴) 従事者：保健師								決算額																												
								7千円																												
								実績値																												
								7講座																												
								進捗状況																												
<table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">回数</th><th colspan="3">受診者数</th></tr><tr><th>全数</th><th>(再掲)妊婦</th><th>(再掲)夫</th></tr><tr><td>宇和島地区</td><td>3</td><td>66</td><td>33</td><td>33</td></tr><tr><td>三間地区</td><td>2</td><td>36</td><td>19</td><td>17</td></tr><tr><td>津島地区</td><td>3</td><td>14</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>計</td><td>8</td><td>116</td><td>59</td><td>57</td></tr></table>									回数	受診者数			全数	(再掲)妊婦	(再掲)夫	宇和島地区	3	66	33	33	三間地区	2	36	19	17	津島地区	3	14	7	7	計	8	116	59	57	4
	回数	受診者数																																		
		全数	(再掲)妊婦	(再掲)夫																																
宇和島地区	3	66	33	33																																
三間地区	2	36	19	17																																
津島地区	3	14	7	7																																
計	8	116	59	57																																
事業に対する評価・課題等																																				
○受講率が減少している。今後も受講率アップを図るため、母子健康手帳交付時に周知していきたい。 ○学級の内容の理解度は100%であった。 ○H20年度より集計予定であった「学級受講者アンケート」は、質問内容を改善し、H22年度より集計することとする。																																				
男女共同参画の視点での評価																																				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5																												
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5																												
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5																												
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5																												
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5																												
平成21年度予定																																				
○マタニティクッキングに夫の参加が可能なことをPR。 ○比較的申込みの多いパパママスクールを初日に実施し、マタニティスクールへ勧誘し、参加率を上げていく。								予算額																												
								6千円																												
								目標値																												
								5回																												

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[3] 男性の家事・育児等への参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H19)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
男性料理教室(地区公民館)	生涯学習課	2館	5館	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
高齡化や核家族化が進む中、地域の男性を対象に料理教室を開催することにより、夫婦がともに協力し合うことの大切さや男性が積極的に家事に参画する意識の向上を図る。								
平成20年度実績								
【男性料理教室】 開催公民館:1館 開催回数 :2回 参加者数 :1回あたり12名							決算額	
							13千円	
							実績値	
							1館	
							進捗状況	
							2	
事業に対する評価・課題等								
開催公民館数が1館であり、公民館として当該事業に対する取り組み姿勢が消極的なため、各地区公民館に対し積極的な開催を促す必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成21年度予定								
【男性料理教室】 開催公民館:4館 開催回数 :7回							予算額	
							30千円	
							目標値	
							4館	

平成20年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—